

【理事長所信】

公益社団法人寒河江青年会議所
2019年度理事長 片倉隆幸

はじめに

ひとつ時代が終わり、新たな時代が始まりを迎えます。

公益社団法人寒河江青年会議所は全国で364番目の青年会議所として認証を受け、本年で52年目を迎えます。青年会議所は「明るい豊かな社会の実現」の理念の元に運動を展開しています。我々はこれまで全ての先輩諸兄が紡いでこられた情熱を深く受け継ぎ、先を見据えた洞察力をもち、高い志を醸成してきました。人がまちを創り、まちが人を創る。私たちは先人たちが残してくれた人と人との結びつきを、地域に生きる一人の人間として共に手を取り合い、後世に伝える責任ある世代であります。青年会議所にいる仲間とのかけがえのない時間はこれからの“未来”を創りあげるうえで、寒河江青年会議所の志を受け継ぎ、これまでの運動を振り返り、残すべき伝統は継承しつつ時代に即した形へと変化し挑戦し続けていかなければなりません。

止むことのない成長と次の時代へ

青年会議所の運動はどれだけ多くの市民の共感を呼ぶのか、影響を与えるのが鍵となります。我々は様々な活動や運動を行ってきました。これまでの多くの活動は運動を興し、地域を活性化する礎となりました。しかし、次の時代へ地域を活性化していくには社会の成長が止まってはいけません。そして社会の成長を止めないためには、個人が成長し挑戦して行くことが不可欠です。会員の資質の向上を行う上でも自身の「思考」「意識」「感情」「気持ち」を自覚し感じ取り、青年経済人としての資質の向上そして地域社会が共有できる情報を見極め個人の成長に繋げなければなりません。私たちは一人では物事を成し遂げることができない中でも、青年として互いに助け合い支えあいながら心を通わせ、協力して困難に立ち向かい未来を切り開いていかなければならないのです。その為には心の豊かさ、日本人としての精神文化である人を思いやる心、人間としての強さや優しさ、そして各種団体との協力と共に分かち合う共感を身に着けていくことが大切です。そこから、運動の真意を伝え、人に興味を持たせ、惹きつけるからこそ力強い導きが変わります。心を掴む発信は共鳴に変わり、私たちの運動に広がり価値を生み出します。

人材から人財への学び舎

私たち青年会議所会員は、「修練」「奉仕」「友情」の三信条のもと地域発展のために運動を展開しています。青年が集い個人の修練を積み重ね、そこで培われた力を用いて地域社会へ奉仕し貢献していくこと、そして互いを高めあえる貴重な仲間との友情を育み生涯の友を得ること、それが三信条であり会員一人ひとりの心構えなのです。

では、新しく会員となる新入会員にとって青年会議所はどのように映るのでしょうか。私たちは、魅力ある J A Y C E E となる為にも、J C の基礎知識や理念、地域におけるこれまでの活動や J C としての魅力を、さらには心構えである三信条をしっかりと新入会員に伝えていかなければなりません。

また、日々の活動を通して様々な体験や学びを重ねることで成長し、寒河江青年会議所としての誇りと目的を持って行動出来る人材、地域を牽引できる人財を育成しなければならないのです。そのためにも興味が湧き参加したくなるような環境を整え、家族間の交流を図ることにより青年会議所の楽しさ、理解、分かち合える感動があることを存分に伝えていくことが大切です。これまでの功績と実績に感謝し、現役メンバーの成長をもって安心して学び舎を巣立つことのできる卒業式を執り行います。同じ志を持つ仲間と共に地域に輝く J A Y C E E として、明るい豊かな社会を築き上げる大きな原動力となります。

子どもたちの笑顔の為に

私たちの住む郷土寒河江西村山は、多くの自然とその風土がもたらす恩恵に与りながら、人と人とが手を取り合って今日まで暮らしてきました。先人たちが努力を重ね繋ぎ創ってきた歴史、そして守ってきた自然や伝統、環境と調和した文化であり、私たちはこの誇れる文化を絶やさぬよう次の世代へ引き継いでいく責任があります。そして、次代を担う子どもたちは、地域の誇りである自然と、これまで先人が築いてきた文化や地域に暮らす心豊かな人々、恵まれた環境によって「私たちは生かされている」という原点に感謝する必要があります。また、感謝の気持ちを子どもたちに伝えたい想いを、未完成的な青年世代ながらも自分たちで議論を重ね、力の限り構築した事業の上にとしっかりと乗せて大きく強くその「想い」と「力」を伝えることが必要であり、親世代である私たちが子どもたちの笑顔を作り上げる上で背中を見せることが不可欠です。

地域の魅力発信と人財の発掘

地域連携による魅力の発信は、同じ目的を共有することで新たな軸を生み出し「誇りある郷土寒河江西村山」の人と人、人と地域、地域と地域の繋がりをより強固なものとし、さらに組織体制の連携をより一層強固な物とし、事業の価値を高めていきます。そして、寒河江青年会議所が中心となり情報整理やまちの魅力の発信、企画運営、人の先頭に立つことを心がけ、意思決定を進めることで合意形成がスムーズに進み、より多くの地域住民の意識が高まる大きな運動に変えていきます。さらなる目標に向け計画性のあるサイクルは新たな目標を生み出し続け、持続可能な形に革新していきます。また、私たちは地域の未来を考え常に前を向き、地域の道標として一步先行く J C として確かな存在意義を示すと共に存在価値を高めていかなければならないのです。私たちが主役であることを忘れずに、市民一人ひとりが責任を持てるまちづくり運動を展開して参ります。地域の魅力を発信することは私たちの魅力を発信すると共に、笑顔や感謝の気持ち、叱咤激励そんな「想い」が、「次もまた…」「次こそは…」と、自己を奮い立たせ、自身が成長していくために必要な勇気と情熱を湧きあがらせてくれます。そして、私たちが発信する「想い」が大きく強いものであればあるほど、J C に興味を持ってくれる方や J C のファンが増えていきます。そして、地域を、人を巻き込み、志と想いを繋げていくことで、J C 運動そのものが地域に拡大していきます。運動が拡大し、J C の存在が身近なものになれば、自分もやってみようかと思うようになってきます。これが会員の拡大、組織としての拡大につながっていきます。

組織力の強化

青年会議所とは様々な背景を持つ会員同士が強く共鳴し合い「まちづくり」「ひとづくり」のために運動を興すことで、地域社会を変える影響力を持つ団体でなければなりません。まず、一人では達成することができない目的を成し遂げようとする時、人は集い協同してその目的を達成しようとし、しかし、単なる集まりでは達成することはできません。各々がいかに行動すべきなのか共通の目的に向かう認識が必要です。一人の行動は小さな力かもしれませんが、たとえ小さな行動でも一人ひとりの「私にできること」が集まれば、必ず大きな運動を生み出します。そのためにも青年会議所の一員としてどうあるべきなのか人間性を高め、会員同士が影響し合い、自発的な行動を起す価値ある団体へと組織力を昇華していきます。更に組織力を高める為には、会員同士を横の連携や率先垂範を心掛ける組織の運営が要であり、公益法人として定款諸規程等のルールや会議例会の運営、連絡調整の徹底、また各種大会への出席の意義を会員にしっかりと認識させ、お互いが成長できるコミュニケーションの活性化が大切となります。さらに有事の際には率先して連絡調整を図り全員が同じ目的や目標に向かって突き進む行動が組織に一体感を生み出し「明るい豊かな社会の実現」に向かう運動を確かなものにします。

最後に

青年会議所とは、「修練」「奉仕」「友情」の三信条の基、運動を展開しています。ここに集う私たちは個人の意思で入会しています。自発的な意思による運動であるからこそ自己啓発、修練に励むべきであり、無限の可能性を秘めた青年が集う学び舎「青年会議所」を活用し、個人の成長につなげなければなりません。また、個人の成長は、まちを創りあげる上でも他人との調和が大事になります。体裁を取り繕うのではなく、お互いに意見を言い合い理解しあうことが「和」であると考え、成功だけでなく失敗を恐れず、経験が人と人の結びつき、そして苦楽を共に分かち合う学び舎が人を育て、人を集め生涯の友を作る場所を作り、まちが人を創ります。それがJCであります。

基本理念

新たなる時代に矜持をもち、和を紡ぎ人との結びを

明るい豊かな社会の実現へ

基本方針

1. 高い志を持つ青年の成長
2. 次代を担う人材の育成
3. 恩恵に感謝し青年と少年の育み
4. 地域の魅力と人財の拡大
5. 和をもって人となす